

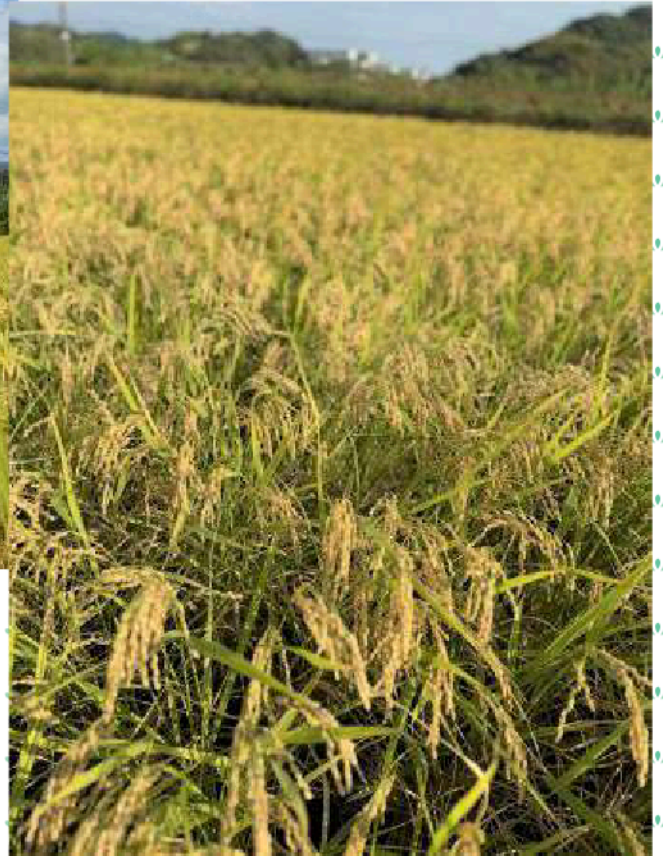
KASAOKA CITY COUNCIL

市議会

かさおか

2024.11.1

182号



「吉浜にて」



- P2 9月定例会を開催しました
- P6 議案等審議状況
- P7 令和5年度決算認定要望事項
- P8 議会報告会を開催します
- P9 ここが聞きたい！一問一答

市議会かさおかは 市民とのかけはしです

9月定例会を開催しました

会期 9月2日～10月2日

●できごと●

議案審議

2～7P

一般質問

9～15P

次回は
12月
定例会

●主な内容●

○議案・・・13件
○発議・・・5件
○請願・・・2件
○報告・・・5件



PICK UP!

●ここに注目●

○笠岡市一般会計補正予算等を可決しました
○笠岡市一般会計歳入歳出等の令和5年度決算を認定しました
○請願2件を採択しました

議案名

一般会計補正予算を可決しました。「令和6年度笠岡市一般会計補正予算（第3号）」

Q

どんな予算が可決されたの？

A

9月補正予算は、国庫及び県支出金等の決定に伴う事業や災害復旧など時期的に予算化の必要のある諸事業について編成されていました。

下記には一般会計補正予算の主な事業についてまとめています。

臭気対策事業

「予算額」1,879万円

◇事業内容 笠岡湾干拓地の臭気問題の解決に向け、バイオガス発電施設に搬入される牛のふん尿を収集する際に必要となる設備の導入及び発電施設から産出される液肥の活用促進に対する補助金並びに今後の施策を検討する臭気対策チームに要する費用です。



固城郡訪問団受入事業

「予算額」48万円

◇事業内容 姉妹都市である韓国・固城郡との交流事業として、固城郡からの訪問団を受け入れます。

コタバル市訪問団受入事業

「予算額」50万円

◇事業内容 友好握手都市締結25周年を迎えるマレーシア・コタバル市との交流事業として、コタバル市訪問団を受け入れます。



認知症施策推進計画策定準備事業

「予算額」96万円

◇事業内容 認知症基本法により努力義務とされている認知症施策推進計画策定に向けた準備や認知症の理解促進のための普及啓発を行います。

笠岡市・里庄町自立支援協議会負担金**「予算額」30万円**

◇事業内容 指定寄附による講演会・研修等の費用として自立支援協議会に支出します。

新型コロナワクチン接種事業**「予算額」9,087万円**

◇事業内容 新たに定期接種の対象となった65歳以上の高齢者等に対する新型コロナワクチンの接種に関する費用です。

西部衛生施設組合負担金（斎場以外）**「予算額」7,235万円**

◇事業内容 笠岡市を含む3市2町で構成している西部衛生施設組合が整備を進めている新ごみ焼却施設建設事業（里庄町）のインフレスライドによる建設費用の増に伴う負担金です。

ため池防災環境整備事業**「予算額」3,500万円**

◇事業内容 7月1～2日にかけての降雨の際に堤体からの漏水が確認された藤曲池（西大島）のため池廃止に要する費用です。

自然災害防止事業（道路新設改良）**「予算額」1,050万円**

◇事業内容 5月28日の降雨を受け、全国各地で発生頻度が増加している降雨等による災害を未然に防ぐため、早急な対応が必要となっている高島地内の道路のり面改修に要する費用です。

緊急浚渫推進事業**「予算額」580万円**

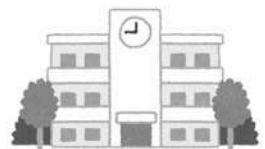
◇事業内容 5月28日の降雨を受け、土砂や草の堆積等で危険度が増したため緊急対応した河川等の浚渫工事（6河川）に要する費用です。

災害対応事業**「予算額」5,307万円**

◇事業内容 5月28日及び7月1日～2日にかけての降雨による被害に対応した応急復旧工事費等に要する費用です。

教材備品購入費**「予算額」100万円**

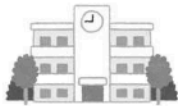
◇事業内容 指定寄附に伴う笠岡小学校の学校教材備品購入に要する費用です。

**9月補正予算の財源内訳**

国庫支出金	96万円
県支出金	4,386万8千円
寄附金	130万円
諸収入	5,660万6千円
市債	8,080万円
一般財源	1億608万6千円
財源合計額	2億8,962万円



請願を採択しました



請願名

請願第3号 岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める請願

請願第4号 「福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等の退職手当共済に掛かる公費助成の継続」に関する請願

請願第3号	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める請願
-------	---

請願第3号は、6月定例会で上程され、引き続き、総務文教委員会で審査を行う「継続審査」となっていました。

9月定例会では、総務文教委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、全会一致で採択しました。

また、請願の趣旨に基づく、「発議第3号 岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める意見書」についても全会一致で可決し、岡山県、岡山県教育委員会及び岡山県議会に意見書を提出しました。

請願内容（抜粋）

笠岡工業高の再編整備について、地域の実状を考慮し、笠岡市を含む井笠圏域のこれからの未来を担う子供たちが成長し、自身が目指す多様な進路選択を狭めることがないようにするために、岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から、笠岡工業高を除外することとともに、時代の進展や社会のニーズに対応した特色ある学科を設置し、学校の魅力と活力を高めることを岡山県及び岡山県教育委員会に求めます。

請願第4号	「福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等の退職手当共済に掛かる公費助成の継続」に関する請願
-------	---

請願第4号は、9月定例会で上程され、厚生産業委員会で審査が行いました。

厚生産業委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、全会一致で採択しました。

また、請願の趣旨に基づく、「発議第7号 社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書」についても全会一致で可決し、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣及び関係大臣に意見書を提出しました。

請願内容（抜粋）

独立行政法人福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等の退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続が打ち切られると、施設経営者において、共済掛金負担の財源が確保できず、ひいては職員への退職手当金の支給ができなくなることから、これまで笠岡市でも進められてきた保育施策や職員に対する処遇改善の後退を招き、今よりも一層人材確保が困難になります。

以上から、公費助成の継続について、国に対し意見書を提出していただくようお願いします。



「笠岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例」

を可決しました

「笠岡市国民健康保険真鍋島診療所条例の一部を改正する条例」

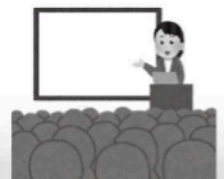
Q どういう議案なの？

A 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に併せて、令和6年12月2日から現行の「健康保険証」が発行されなくなるとともに、マイナンバーカードをお持ちでない方や、マイナンバーカードを持たれていても健康保険証をひもづけされていない方が、保険診療を受けられるよう、今後は各医療保険者が「資格確認書」を提供することとなるため、関係する条例を改正するものです。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、「岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」の議案も可決しました。

※議案の審議状況については、6ページにあります。

議員研修会を開催しました



笠岡市議会では、令和6年10月2日に、「令和6年度笠岡市議会議員研修会」を開催しました。

今年度は、岡山大学大学院 福重さと子教授を講師にお招きし、「地方自治法の基礎」についてご講義をいただきました。

地方自治制度に携わる議員にとって、地方自治法は基礎となるものであります。

議会にとって、大変有意義な研修となりました。



議案等審議状況



審議状況は HP でも
見ることができます！



下記に掲載する議案については、全会一致で可決しました。

議案番号	案 件
議案第54号	令和6年度笠岡市一般会計補正予算(第3号)
議案第55号	令和6年度笠岡市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第56号	令和5年度笠岡市水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第57号	令和5年度笠岡市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第58号	令和5年度笠岡市病院事業会計の決算認定について
議案第59号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
議案第60号	工事請負契約の一部変更について
議案第61号	笠岡市教育委員会委員の任命同意について
議案第63号	令和5年度岡山県西部地区養護老人ホーム組合の決算認定について
請願第3号	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める請願
請願第4号	「福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等の退職手当共済に掛かる公費助成の継続」に関する請願
発議第3号	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める意見書
発議第4号	笠岡市議会委員会条例の一部を改正する条例について
発議第5号	笠岡市議会会議規則の一部を改正する規則について
発議第6号	笠岡市議会議員の欠席時における議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例について
発議第7号	社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書



賛成・不賛成の分かれた議案は起立採決で賛否を問います 賛成○ 不賛成●

議案名	議員名	会派名	創政 みらい				讃志会			いぶき		公明党		むす の会び		諸派					賛成・ 不賛成		
			天野 喜一郎	仁科 文秀	桑田 昌哲	大月 隆司	山下 恭司	大山 盛久	奥野 泰久	山本 聡	藤井 義明	妹尾 博之	齋藤 一信	大本 邦光	真鍋 陽子	数田 誠二郎	西山 博行	守屋 基範	村上 太志	宮崎 秀夫	井木 守	加藤 義久	
令和5年度笠岡市一般会計歳入歳出ほか6件の決算認定について			○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18：1
笠岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例について			○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18：1
笠岡市国民健康保険真鍋島診療所条例の一部を改正する条例について			○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18：1
岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について			○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18：1

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わるできません。

要望しています ～笠岡市の未来のために～

令和5年度
決算認定要望事項

9月定例会では、令和5年度笠岡市一般会計等の決算の審査を行いました。

審議の結果、「令和5年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか6件の決算認定について」は、認定し、7件の要望事項を付けることになりました。要望に対して市がどう取り組んでいるかは、定例会ごとに進捗状況として報告してもらい、議会がチェックしています。

1「公共施設整備費引当基金積立金」について

老朽化が著しい市役所本庁舎の更新は喫緊の課題と考える。

公共施設整備費引当基金への積立を計画的に行い、新庁舎建設の早期実現を図っていただきたい。

2「サテライトオフィス等開設サポート補助事業」について

当事業は令和5年度で終了しているが、全国的に多様な生活形態や働き方が今後促進されることが見込まれている。

笠岡市としてこの機会を逃がすことなく、サテライトオフィス等の開設、整備等の費用の一部としての補助金交付を継続していただきたい。

3「高齢者共同生活住居事業」について

高齢者共同生活住居事業については否定するものではないが、事業の在り方を見直す時期に来ていると考える。

今後を見据えて、適切に施設の運営ができるよう、事業の見直しを行っていただきたい。

4「子育て支援事業」について

国を挙げて子供、子育てを支援している中、子育てに困難さを抱えるひとり親家庭、多胎育児家庭、障がい児を育てる家庭等の実態に適した支援ができるよう、柔軟に対応していただきたい。

5「放課後児童クラブ運営事業」について

小学校の余裕教室については、放課後児童クラブの充実が図られるよう、教育委員会と連携を図りながら積極的に活用していただきたい。

6「道路維持事業」について

今後も十分な予算を確保し、道路維持修繕、草刈等の市民要望に対し迅速に、きめ細やかに対応していただきたい。

7「学校給食事業」について

近年の物価高騰により保護者の経済的負担が増えている中で、保護者の負担軽減を図るため、学校給食の段階的な無償化に向けて、努力、研究をしていただきたい。

併せて、子供たちの健全な成長のため、安心安全なオーガニック及び減農薬食材を使用した学校給食の提供に向けて引き続き、努力、研究をしていただきたい。



議会報告会

を開催します！



今年度の報告会は、全議員が一堂に会し、市民の皆様のご意見をしっかりお聴きできるよう、「意見交換会」として開催します。

予約なしでご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

日時・場所

- 令和7年2月9日（日）
午後1時30分～（1時間半程度）
- 笠岡市保健センター（十一番町1-3）
ギャラクシーホール・研修室（2階）



◀ 令和5年度の様子

テーマ

「公共交通について」

「笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方について」

※当日は参加者が関心のあるテーマごとに分かれ、グループを作り、意見交換を行う予定です。

市議会の会議資料を、スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。

市議会の資料（電子書籍形式）を、外部サイトで公開しています。



←会議資料は、二次元コードまたは市議会のHPからご確認ください。

※個人情報に関する箇所は、伏せた上で掲載していますのでご了承ください。

議会生放送を行っています

笠岡放送（株）にご協力いただき、CATVの11ch行政（地デジ112ch）で審議の様子を放送しています。

本会議、常任委員会（総務文教委員会・厚生産業委員会・予算決算委員会（一部））及び予算・決算についての詳細な審査や確認を行う分科会が生放送でご覧いただけます。

よりよい笠岡市をつくっていくために行われる白熱の会議は必見です。傍聴したいけど時間がない、議会棟まで行くことが困難・・・という方や、議会には興味がない・・・という方も、ぜひ一度ご覧ください。

次回生放送を予定している会議は、最後のページの「12月定例会のお知らせ」にあります。

（変更となる場合がありますのでご了承ください。）

皆さんも一緒に笠岡市の未来について考えましょう！！

自治体財務について



讃志会

質問者

おくの やすひさ
奥野泰久議員

所属議員

おおやま もりひさ
大山盛久議員やまもと さとし
山本 聡議員

〔質〕 自治体の貯金である財政調整基金約8億4千万円が来年度にも底をつくおそれがある。万が一災害が発生した場合には財政調整基金を使用するが、いつ起こるか分からないにもかかわらず、その基金がもうなくなっている。極めて異常な状態である。その原因と対策について尋ねる。

同程度である。財源不足については手を打たなければ、年間で10億円程度の財源不足の見込みである。

〔質〕 心配する財政再建団体になることは絶対に回避しなければならぬが、仮にそうなった場合はどうなるのか。

策について尋ねる。

〔答〕 平成の大合併をしなかったことで普通交付税の減少、市民病院を有していることで財政が厳しく、対策としては第9次行革大綱による歳入の確保、補助金やイベント等の歳出削減、公共施設の統廃合、集約化で改善を図りたい。

〔答〕 財政再建団体になると、地方債の発行が制限され、道路などの整備等の様々な事業が困難になる。さらには、使用料等の値上げなど、市民サービスの大幅な低下となる。

〔質〕 見直しはどこからやるのか。

〔答〕 施設の使用料等の見直し、未利用地の売却、公共施設の統廃合、集約化等を考えている。

〔答〕 財政運営適正化計画の推計と

「笠岡市民を守る施策」について



むすびの会

質問者

やぶた せいじろう
藪田誠二郎議員

所属議員

まなべ ようこ
真鍋陽子議員

〔質〕 緊急の自然災害が起きたとき、どのようにして笠岡市民を守るのか。

倒防止対策を啓発した。

〔答〕 笠岡市地域防災計画において詳細を定めている。南海トラフ地震における津波到達時の対応についても、同計画に基づき、市民の生命と暮らしを守るよう努める。

〔質〕 南海トラフ地震臨時情報を受け、どのような対応をしたのか。

〔答〕 数字にこだわらず、自分の身を守る行動を重点に、落ち着いて、家族や近くにいる方と一緒に浸水想定区域外や高台に避難していただくように指導していく。

〔答〕 自主防災組織へ連絡体制の確認、有事の際の避難誘導、災害時要支援者の支援などを要請し、災害時相互応援協定を締結中の約50の民間企業等にも協定の内容確認と有事の際の協力を依頼した。また、市民に対し、災害情報メール、LINEで備蓄の備えや家具の転

〔質〕 首相官邸ホームページに「災害が起きる前にできること」のページがある。本市でもウェブページやA4・一枚で用意できないか。

〔答〕 分かりやすい、参考にできる部分は取り入れていきたい。



いぶき

質問者

せのお ひろゆき
妹尾博之議員

所属議員

ふじい よしあき
藤井義明議員

バイオガス発電施設について

〔質〕 毎日100トンの処理水が放流されることだが、施設の設置運営に当たって、地元漁協と協議を行っているのか尋ねる。

〔答〕 放流については法の基準を満たしており、岡山県の許可も得ているので問題がなく、放流同意は必要ないと承知している。しかし、関係団体に事業を理解してもらうことが必要なため、今後協議を行っていく。

〔質〕 発酵終了後の凝縮消化液は干拓地内へ液肥として散布する計画だが、長期継続的に適正処理ができるのか尋ねる。

〔答〕 県の助言を受けて各作物の窒素要求量を勘案した散布計画が立てられていると聞いている。また、

場内に10日分の貯留タンクを設けており、荒天時にはこれにストックをして対応するが、それでも液肥が過剰となった場合は、牛ふんを発電施設に提供した各牧場にて、おが粉等で水分調整行い、堆肥として利用する計画としている。

〔質〕 万が一今まで以上の悪臭が発生したり、水質汚濁等の問題が生じた場合、誰がどのように責任を取るのか尋ねる。

〔答〕 瀬戸内海環境保全特別措置法の特設施設設置については岡山県が許可を行っているので、水質に関しては岡山県が責任主体となる。また、かぶとバイオファーム合同会社が特設施設の申請書を提出しているので、事業に関してはそちらが責任主体になると考える。



公明党

質問者

さいとう かずのぶ
齋藤一信議員

所属議員

おおもと くにみつ
大本邦光議員

笠岡市がこのままでは財政危機に陥ってしまう原因は何なのか。

〔質〕 これまで市は議会に対してお金はあるという説明であったのが、なぜ急に財政は厳しいという説明になったのか。

〔答〕 これまで、財政課はこの厳しい状況を知っており、そして指摘はしていたが、判断と指示がなされなかったというところがここまでの大きな財政の危機を招いた原因だと思ふ。そして、何よりも議員や市民に対して、適切な時期に正しい財政状況の説明がなされなかったということが大変な問題だったと言わざるを得ない。私は、前執行部の判断と指示が適切ではなかったというふうに申し上げたつもりだ。人件費や物価高騰などの見込みにおける前提条件が変わったということをご理解いただきたい。

笠岡市の社会動態は改善したのか。学校運営への影響は。

〔質〕 小中一貫校、小中一貫教育の運営について、笠岡市の社会動態がどのように影響しているか。

〔答〕 増減の傾向としても外国人の転入転出の動きが本市の社会動態全体の増減に影響しているものと考えている。6年間で年平均230人の人口が減少していることは、大変厳しい結果だと捉えている。こうしたことは、瞬間値だけで物事を判断するのではなくて、中・長期的に分析をして捉えていくという観点が非常に重要だ。現在、学校規模の適正化計画の見直しについて、将来の児童・生徒数の予測を再評価しているが、社会動態の影響は少なからずある。



創政みらい

質問者

にしな ふみひで
仁科文秀議員

所属議員

あまの きいちろう
天野喜一郎議員

くわだ まさあき
桑田昌哲議員

おおつき たかし
大月隆司議員

やました きょうじ
山下恭司議員

財政立て直しにあたり
副市長の考えを聞く

〔質〕 財政状況改善の努力が必要な本市に対し、今まで岡山県の財政運営に携わってこられた副市長はどう認識しているのか。

〔答〕 県において毎年400億円規模の財源不足が見込まれたときに、県民に財政状況を丁寧に説明し、極めて厳しい行革に取り組んできた。本市においては、令和2年度に5億円まで基金残高が落ち込んだときに財源不足が続く見通しであったことから、この時点で抜本的対策を講じるべきであった。しかし、今ならまだ立て直せるぎりぎりのチャンスなのでこの問題から目をそらさず、しっかり取り組んでいきたい。今回の改革では、市民の皆さんに相当のご負担とご協力をいただかなければいけない。実状を理解していただきたい。

防災拠点としての本庁舎の
建て替えは喫緊の課題

〔質〕 昭和31年1月の建設で70年近くたっている笠岡市本庁舎の建て替えについて尋ねる。

〔答〕 最優先で取り組む。災害時は災害対応の拠点として庁舎機能を維持・確保しなければならない。

〔質〕 平成28年に起きた熊本地震で、昭和40年建設の宇土市役所は柱が折れ、壁が崩れ落ちた。地震は職員不在の夜間だった。日中だったら多くの死者やけが人が出ていたと職員から聞いた。宇土市は着手から建設までに8年かかっている。本市は何年かかるのか。

〔答〕 基本構想から実施設計まで4年、建設工事に3年かかる。解体工事を含めると8年から9年かかる。



まなべ ようこ
真鍋陽子議員

人口減少下における
新たな地域づくりを

〔質〕 ①行政コスト削減ツールとして、地域内経済循環、持続可能な地域づくりツールとしてデジタル地域通貨を導入できないか。②笠岡市パートナーシップ・ファミリースイップ宣誓制度の対象に事実婚を含めることはできないか。

〔答〕 ①メリットとデメリットを注視しながら導入に対する可能性を含めて現在研究している。②制度を創設した背景には、性的マイノリティーの方々には婚姻の選択肢がないという現状があり、当事者が抱える人権問題の解決という大きな目的がある。一方で、事実婚で暮らすお二人には様々な理由があると思うが、パートナーシップ・ファミリースイップ宣誓制度を事実婚に拡大することは考えていない。

男女共同参画社会に向け、
新たな人事評価を

〔質〕 人口減少時代における笠岡市独自の人事評価を新たにつくり上げることはできないか。

〔答〕 現在、人事評価システム研究委員会を立ち上げ、人事評価制度の見直しを進めている。その素案を基に新たな人事評価制度を構築していく。

〔質〕 笠岡市政初の女性市長誕生に市民の、特に女性の期待は大きい。市長の考えを尋ねる。

〔答〕 いかなる性であっても、自分の人生を自分で生きていくという権利を男性、女性にかかわらず全の方が持っていると思う。市民全員が自己実現をできる、そういう環境、場を整えるのが行政の仕事だと考える。





くわだ まさあき
桑田昌哲議員

50代からの

健康づくりについて

質 带状疱疹予防接種を発生事例を考慮して年齢を働く世代からにすることや他市の状況を鑑みて、笠岡市独自として早期対応できないか。

答 国では带状疱疹予防接種を定期接種にする方向性で議論を進めている。開始時期や対象年齢についても国で定める定期接種に併せて実施する。

質 定期接種になったら市町村への財政負担が非常に大きい。本市からも国へ、市町村への財政援助を要望するべきではないか。

答 近隣市町の事務担当者レベルで意見交換を行い、情報を集め、そうした方向性を考えていきたい。



笠岡の観光について

質 現在の観光協会の位置づけについて尋ねる。

答 観光協会設立から4年目を迎えたが、観光協会の位置づけを含め、目標達成に向けた本市と観光協会の役割について明確化されていない。まずは曖昧になっている役割等について早急に意識の統一、明確化を図り、観光協会の在り方、方向性について考えていく。

質 人目につく場所での案内所、案内方法について尋ねる。

答 JR笠岡駅構内の観光案内所設置は条件面で折り合いがつかない。観光協会と本市の役割を明確にし、DX化も視野に入れ、多言語対応タッチパネルを活用した観光案内も手段の一つと考える。



にしやま ひろゆき
西山博行議員

小中高の連携と

市の人材育成方針について問う

質 笠岡市では、小中一貫教育カリキュラムを運用し、相互乗り入れ授業・地域学・異学年交流などの小中一貫教育を進めている。小学校・中学校の連携だけでなく高校との連携も検討すべきだと考えるが、市として高校を含めた連携についてどのように考えるか。

答 小・中学校が高校と密接に連携しながら教育を行うことは重要であると考えている。高校教員による中学校への訪問や出前授業、小・中・高連携による朝の挨拶運動、小・中学校の校長が高校の学校運営協議会委員としての参画などを行っている。今後も小・中学校と高校が密接に連携協力し、効果的な教育活動を行うことで、就学前から高校までの子供の成長を支援できるよりよい教育環境の実現を



目指していく。

小規模多機能自治の

推進について問う

質 笠岡市を取り巻く状況は、今後厳しさを増していくことが予測される。今後の自治体経営において、行政だけではなくできる限り市民の皆様の力・地域の力を生かしながら一定の公共を担っていたく、つまり住民自治を進めていくことが非常に重要となってくると思うが市長の見解についてお聞きしたい。

答 住民の皆様にはこれまで以上に地域の課題を自ら積極的に捉え発信していただく必要がある。そのために地域住民と地域に存在する各種団体、行政等が連携して地域課題の解決に取り組む小規模多機能自治の推進に取り組みたいと考えている。

笠岡市の財政状況と
改革方針について



いぎ まもる
井木 守議員

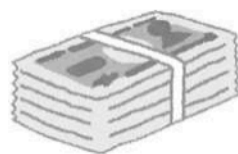
質 今後、歳入増と歳出削減を進めると思うが、市の歳入に占める税収の割合は30%程度で、歳入増には限界がある。歳出削減が本命となるが、どのような基本的な考え方で歳出削減を進めるのか。

答 ソフト事業の見直しによる歳出の削減、公共施設の統廃合、集約化など抜本的な改革を図る。11月頃には事業見直し案など財政健全化プランを提示したい。

質 自治体の役割は、住民の福祉の増進を図ることである。市民の命や暮らし、福祉を守る予算はしっかりと拡充し、無駄な予算は削減するという姿勢を貫くべきだ。

答 市民の安心・安全を守るという視点を持ち続けて向き合いたい。

市民の命を守る猛暑対策を



質 全国では、エアコンのない世帯に対して、エアコン設置補助をする自治体が生まれている。本市でも検討すべきではないか。

答 現在のところ考えていない。熱中症について、市民への注意喚起や予防への啓発に取り組んでまいる。

質 子供たちを第一に、少なくとも大規模災害発生時に避難所となる小・中学校の体育館への空調設備の設置を検討すべきではないか。

答 空調設備を設置する場合、国庫補助金等を活用した大規模改修工事になる。現在、学校規模適正化計画を改定する準備を進めている。財源も考えながら空調設備の設置を計画的に検討したい。

笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画について



かとう よしひさ
加藤義久議員

質 本年6月議会において、現計画を一時停止し、新たな計画に基づいて事柄を進めるのであれば、地域の皆様へ説明責任があると指摘した。その後、3地区(陶山、金浦、城見)で地元説明会が開催された。その場における地元住民の意見、特に保護者からの切実な声をしっかりと受け止め、共有することで、今後の笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画に生かしていただくため尋ねる。①陶山地区においては、一刻も早く城見小学校と一緒になればいいとの声が大勢を占めていたが、いかに対処するか。②金浦小学校へ行ける選択肢も欲しいとの要望もあったが、いかに対処するのか。③金浦地区においては、当初の計画に変わり施設一体型小中一貫教育校を新設する計画が浮上してきたが、いずれ

にせよ早く結論を出すよう求められており、今後のスケジュールをどのように考えているのか。④城見地区においては、施設一体型小中一貫教育校を新設すれば多額の費用が必要であり財政を圧迫するので、当初の計画どおり陶山から来てもらえばいいとの声があり、いかに対処するのか。

答 ①から④まで一括して答える。会場でいただいた保護者の方々の不安や地域の皆様からのご意見はしっかりと受け止め、スピード感を持って対応していく。本年11月頃までには学校規模適正化計画の改定案をお示ししたいと考えている。その他、認定こども園(公立)の問題解決について質問しました。





もりや もとのり
守屋基範議員

地域防災について

質 南海トラフ地震の被害想定は。

答 全壊家屋が1953棟、死者130名、負傷者427名、地震発生直後、1万7736名の避難者が発生し、ライフラインにも被害が発生すると予想される。

質 個別計画のある金浦を除き、災害想定地域に居住される避難行動要支援者の方への対応は。

答 地域で個別計画の策定が難しい中で、行政として個人への働きかけが必要と考えている。

耕作放棄地の解消について

質 耕作放棄地等の農地の環境保全について尋ねる。



答 ラジコン式草刈り機等の貸出事業を行い、負担軽減に努めている。多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払制度を活用し、地域での活動組織へ財政支援を行うことで耕作放棄地の発生抑制を図っている。

質 農業者が減る中で、地域で環境保全を考えることが必要では。

答 多面的機能支払制度については地域での取組がメニュー化されており、市として組織が継続的に活動できるようサポートする。

質 農村RMOで、地域を再編成する仕組みとしてまちづくり協議会等に導入してはどうか。

答 各地域の実状に照らし合わせ地域課題と制度の趣旨が合えば制度活用の可能性もある。



やました きょうじ
山下恭司議員

笠岡市の人口減少問題について

質 人口減少問題について10年前から定住促進施策や子育て支援に取り組んでいるが、人口減少に歯止めがかかっていない。人口減少問題に関する考えを尋ねる。

答 人口減少による影響として、税収の減少、高齢化に伴う社会保障費の増大、将来の支え手の減少等による市民サービスの低下が懸念される。市民サービスの維持と持続可能な行政運営を図り、広域連携の視点も含め取り組んでいきたい。

質 持続可能な人口とは。

答 持続可能な人口規模、人口数の設定は難しいが、人口推計の数値から下振れることがないよう各種施策の展開に努めていきたい。



笠岡市の有害鳥獣対策について

質 有害鳥獣対策の成果と今後の見通しについて尋ねる。

答 笠岡市鳥獣被害防止計画におけるイノシシ捕獲計画数の令和4年度1100頭、令和5年度1150頭に対し、捕獲頭数は計画の1.4倍以上の成果を上げている。現行の捕獲率を維持できれば半減目標が達成できそうである。

質 国・県の交付金が地域住民組織に出ないことについて尋ねる。

答 協力金制度について地域住民組織のボランティアで賄うには限界があり、捕獲数の増加による負担を軽減するために協力金の見直しを検討している。国・県の交付金についても県と協議を行っている。



みやざき ひでお
宮崎秀夫 議員



秋からの新型コロナウイルスワクチン接種について

〔質〕 新型コロナウイルスワクチンは従来のインフルエンザワクチンに比べ副

〔答〕 適切な説明をしていただくようお願いしている。

反応報告件数の死亡報告件数は約50倍、国が認めた予防接種健康被害救済制度での死亡認定件数は122倍あることが分かっている。日々変化する新型コロナウイルスの情報

〔質〕 ワクチン接種の案内に、重篤な副反応事例に死亡例があることを明記できるか。

報を市民に提供し、納得した上で接種することが重要であると考え

〔答〕 できるだけ誤解を招かないように表現を考えている。

る。日本のみで認可されたワクチンについて、リスクを接種希望者が分かるようにできるか。

〔質〕 予防接種救済制度に必要な書類を集めるのがあまりに大変である。本市からサポートはあるか。

〔答〕 ご自身で予約の際、医療機関へ問い合わせていただきたい。

〔質〕 申請の相談は健康推進課にて個別の対応となる。

〔質〕 医療機関においてインフォーマドコンセント（効果と副作用、リスクについての説明）は適切に実施されているか。

〔答〕 その他、笠岡湾干拓地の臭気対策について質問しました。

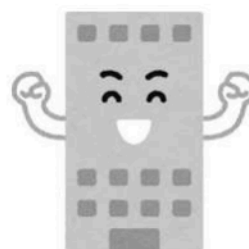
〔質〕 市長のトップセールスは、熱意を伝える上で有効だ。

産業振興（企業誘致）について



やまもと さとし
山本 聡 議員

デジタル地域通貨の導入に向けて



〔質〕 市の立地特性や交通利便性などの情報発信をし、若者のニーズに合った、成長性が見込める企業誘致を図るための産業振興ビジョンを策定している。活用方針は。

〔質〕 様々な地域課題について、地域通貨の利用は地域経済の活性化、人々のつながりの強化、地域ブランド発見・向上など、地域内の課題にアプローチして課題解決などメリットをもたらすことが期待される。導入に向けた可能性は。

〔答〕 企業誘致、地元中小企業振興、起業支援、観光振興を産業振興施策の3本柱とし、実現に向けて引き続き活用する方針としている。

〔答〕 導入費用や運用費用、あるいは継続したキャンペーンなどを行わないと市民に定着しない面もあり、現在研究している。

〔質〕 企業誘致の用地確保は。

〔質〕 業務改善や組織横断的な体制への改革につながるのでは。

〔答〕 政策部、総務部、建設部、産業部による土地利用検討チームを設置し、企業へ働きかけを行いながら、民間の活力も利用したい。

〔答〕 DX推進本部を立ち上げた。本部長を市長とし、横断的な組織体制としてDX推進計画を推進している。行政手続のオンライン化等により業務の効率化を図る。

〔質〕 市長のトップセールスは、熱意を伝える上で有効だ。

〔答〕 DX推進本部を立ち上げた。本部長を市長とし、横断的な組織体制としてDX推進計画を推進している。行政手続のオンライン化等により業務の効率化を図る。

12月定例会のお知らせ

11月25日（月）★初日（議案上程ほか）
総務文教委員会協議会

12月 4日（水）★2日目（個人質問）
5日（木）★3日目（個人質問）
6日（金）★4日目（個人質問）
9日（月）★5日目（諸議案質疑以下）
予算決算委員会
厚生産業委員会協議会

10日（火）★総務文教委員会
★予算決算委員会総務文教
分科会

11日（水）★厚生産業委員会
★予算決算委員会厚生産業
分科会

13日（金） 予算決算委員会理事会

17日（火）★予算決算委員会
議会運営委員会

18日（水）★最終日（議案採決ほか）

（★は生放送予定の会議です。）



※この日程は予定です。日程は11月20日の議会運営委員会で決定します。会議は各日とも9時30分から開始します。



傍聴をしてみませんか？

議会では、私たちの生活に関係のある重要な問題が審議されています。皆さんが選んだ議員が、どのような活動をしているかご存知ですか？議場では議員の活動の様子をどなたでも目の前で見ることができます。ぜひ、傍聴にお越しください！

「市議会かさおか182号」に対するご意見をお聞かせください

市民の皆様の「市議会かさおか182号」に対するご意見をお聞かせください。

ご意見は、読みやすい紙面づくりに今後生かしていきます。

応募方法 スマートフォン又はハガキからお寄せください。

●スマートフォンの場合

下記の2次元コードを読み取り、必要事項の入力・選択をお願いします。



●ハガキの場合

ハガキに必要事項（住所・氏名）をご記入の上お送りください。

【宛先】〒714-8601

笠岡市中央町1-1 笠岡市議会事務局 宛

編集の窓

執行部より新たな市政の船出を迎えるにあたり、お金があるという説明が行われていたにもかかわらず、笠岡市の財政状況は極めて危機的な状況にあると市民・市議会議員が不安を抱く報告がありました。

栗尾市長としては、相当な覚悟を持った財政改革に取り組むと同時に、市民の皆様にも現在の財務状況について丁寧に説明し、ご理解をいただき、議会とともに持続可能な行財政の確立に向け、取り組んでいきたいです。

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。
ぜひHPをご覧ください。



広報公聴委員会

◎天野喜一郎 ○齋藤一信
大山盛久 桑田昌哲
妹尾博之 仁科文秀
山本 聡

◎委員長 ○副委員長